

3月6日より ファミリーマート サカタニ京阪七条店 店舗改装のため休業

予定(約2週間)
酒売場と店舗内も拡張:
2階「楽々ホール」は大きくし
設備も改良します。
お気軽にご利用下さい。

写真(左)は当社ビル建設中のも、ファミリーマート時友の会会員様に配布したクイズチラシ。写真(右)は「朝粥食べておしゃべり会」のチラシ。写真(左)の所の文字を入れる形、景品の特等は「ハワ

写真は当社ビル建設中のも、ファミリーマート時友の会会員様に配布したクイズチラシ。



初心を忘れない

1986年、父の没後相続した二棟(現在地)で経営していた「酒屋」と「立飲み酒場兼うどん屋」を壊しビルに建替、一階は当時「深夜スーパ」と呼ばれていたコンビニエン

初心を忘れない

1986年(昭61)開店



発行者
株式会社サカタニ
集西楽・サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・
東山区七条こころ坂下
・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
とんからりんは
毎月発行の
会員新聞です
編集・酒谷義郎
yosi rou@sosake.jp

ス・ストア(ファミリーマート)2階を「東山めん坊」の名の「うどんとスパゲッティ店」に転換しました。

「コンビニエンスストア」等でしたが正解者は無く、抽選で「ハワイ旅行・国内旅行券」を進呈しました。その後度改装の間に「コンビニ」は日常語、四つ角で四店は見えた酒屋看板が消え、「CVS」の看板が見える今になりました。

「ホール」の過去で(座席を使って)最高の入りは「笑福亭鶴瓶」参加の落語会85席でした。交通便が良最近はご利用増えてます。防音や壁面改造シテ、少し「質の良いホール」にします。

どんつき

私の店
は祖父が明45(1622)今の店の少し東で「酒屋」を開き七条通抜時に現在地に移った。以後も酒を中心に営業をして来た。

酒屋時代は大手の飲食店等に販売、店売りは毎月月初めの3日間「ワンツウ・スリーセー」を売りました。その時代は、酒の安値販売は殆どされていなかった時代、「酒類の安売」は随分お客様方に喜ばれ売上げ好調でした。

年中無休24時間営業は厳しい仕事ですが、百年以上の酒屋の「初心を忘れず」自らを律し、「とんからりん」に掲げた「地域のお客様のお役に立つ店をめざして」店は、人と人のふれ合いの場である。

「サカタニは酒場で、元々「酒屋」です。お酒の事ならマカシトイテ!」新店の人手が足りません。会員様には、「求人チラシ」同封しました。お願い!どなたか応援かご紹介をお願いします。変な親父が運営してありますが「ブラック企業」ではありません。「サカタニ友の会」会員証の切替月ですが、工事の関係で一ヶ月延ばしました。例年のお礼の「券」同封。気兼ねなく早く使ってください!

七条大橋も土木学会では選奨土木遺産だが、歩道は他の橋より極めて劣り最低。戦時取外された街路灯も戻つてない。七条大橋は傷痕軍人だ。橋から「秀吉公墓所」のある東山阿弥陀ヶ峰、「どんつき」の智積院山門も良く見える。橋から東を見て京で一番だ。残念ながら、後回しにされ電柱、電信柱が自線に入る。地中化は五条迄来た。やっと次か。黙ってたら飛ばされる。市民税は「カニ(カニ)ト(シキ)も同率ですえ!。そやぞかい頑張る一手しかおへんやんか!」

「朝粥食べておしゃべり会」 三月 工事で休会

第111回: 朝粥食べ
おしゃべり会
開催・予定日
(定例第日曜日・朝9時)
平成26年: 4月20日(日)
お話し: お題・講師・未定
場所は「四馬」とんからりん
でお知らせします。
定員は40名様: 会費300円
申込み要: 定員で締切り

七条大橋も土木学会では選奨土木遺産だが、歩道は他の橋より極めて劣り最低。戦時取外された街路灯も戻つてない。七条大橋は傷痕軍人だ。橋から「秀吉公墓所」のある東山阿弥陀ヶ峰、「どんつき」の智積院山門も良く見える。橋から東を見て京で一番だ。残念ながら、後回しにされ電柱、電信柱が自線に入る。地中化は五条迄来た。やっと次か。黙ってたら飛ばされる。市民税は「カニ(カニ)ト(シキ)も同率ですえ!。そやぞかい頑張る一手しかおへんやんか!」

ヨシちゃんのと ひとりごと



運・鈍・根

第八話 書をお届け

現会員様には申込に、お届の財産相続した。その28年後、祖母が没し、遺品整理中、祖父の字で「喜郎・二月×日」と記した私の「へその緒箱」が見つかった。16歳で見た戸籍では名「義郎」父一郎母初枝なのに。そこか、若過ぎた我が両親の子供としてでなく、祖父夫婦は自分達の子、名の一字を使い「喜郎」とし、父一郎の弟として育てようと思つたのだらう。一ヶ月の届け遅れの間、誰かの(想像は出来て暮参りしている)忠告を受けて、実際の母初枝父一郎の長男とし届けたのだと思つている。名前を「喜」から「義」に変えたのは、明治まで酒谷家は代々「義左衛門」。幼くて死んだ祖父の兄は「義太郎」だったから、その「義」を呉れたのだらう。この一字違いは、私の人生に大きな影響を与えた。前に書いたが、もし私が次男「喜郎」なら相続権は無く、長男の父一郎が全財産を相続し、弟の私は「分家」し住居用の家を貰つて酒屋もしなかつただらう。タツタ一字の違いで私の人生は大きく違つた。「とんからりん」も『集西楽サカタニ』も無く皆様とのご縁もなかつたと思う。

ああ、割烹着 石動敬子



エプロン姿というのは、ふだん着の中でもなかなかいいものだ。女がそれをまとい、くるくる立ち働いてこそ、家族は明日を迎えられた。今も結婚のお祝いにエプロンを贈つたりしないだらうか。四十年前の私たちの頃は、そうだった。今、割烹着が注目されている。つい先日、医学の分野で世界的発見を成し遂げた三十代の某女性研究者の仕事着が、白衣ではなく、割烹着だったのには驚いた。はるか昔、これに、戦時中の女たちの常着だった。この頃は、とんと見かけなかつたから。先日母の遺品整理で困つたのが、この割烹着だった。新品同様のものが一枚あつたが、どう考えたところで、今の私には、馴染

まない。花柄のエプロンくらいでない。ところが、朝の連ドラ「ごちそうさん」の主人公が戦時下の割烹着姿だし、山田洋次監督の「ちいさいおうち」の新人女優が、何やら素晴らしい賞をいただきはつたとかで印象的なのがこの割烹着姿だった。白という色が美しく、着物という日本人の常着にピッタリなのだ。た。「滅私奉公」という言葉がふと浮かぶ。いわずな忠誠心、それが白だらう。母のたつた一人の兄が江田島の海軍兵学校に学び、特攻隊員として、戦争末期、フライピン沖で、敵機に体当たり、戦死を遂げた。その経緯は、墓の側面に記され「痛恨何ぞ堪へん」と結んだ祖父の怒り。祖母や母の嘆きは幼い頃から聞かされてきた。墓石になる事でしたか。帰省を果たせなかつた、その

家に「靖国の家」の札がかけられ、「皇居奉仕団」の割烹着の母が、県代表で挨拶したよと記念の写真をみせてくれたも、聖戦遂行のレールに乗せられた愚かさや戦後生まれは、冷笑さえた。

しかし、今また、装いを新たに「戦争する国」になってもいいのか、「原発再稼働を許すのか」などの大事が、限りなくはぐらかされていないか。選挙権という勝ち取ってきた命の源の行使も、運動会の勝敗程の軽さで取りざたされ、戦争がさりげなく背後から、襟首をつかむようにそと迫っている。

だから今、割烹着は、用心深く着ようと思う。歴史の歯車をあのようにな、むごい過ちの日々に戻しては台無しだから。けれど、ああ、また、洗顔にさえ袖を濡らしてしまつたの、この拙さはどうだらう。

また消えるか 一円玉



八十年の人生で何度となく危機を経験、迷い苦しむ事も多かつたが、「運」良く何時も「追記」ヨシちゃんは、「店舗改造」で、「三月六日」一週間閉店して百年間扱ってきたお酒を柱に「ファミマ」と「酒谷(サカタニ)」を「よりお役に立つ店」にと動き出しました。その間ご迷惑をおかけしますが、引き続き「サカタニ友の会」に参加、応援を！。

府在住の女性の作。全国の2000点の中から選ばれたという。それは兎も角として、当初は福祉に宛てる税と言つていたが、保険料は上がつても福祉は向上してない、全く「詐欺」やんか！。責任者出て来い！。と言いたいが「責任者を選んだん誰れや！」と言われたら「仰向けに睡」チャウ阿茶や。聞けば一円玉は原価三円とか。下手な商売して馬鹿みたい！。



祖父喜一郎が昭和20年(1945)9月58才で亡くなつた。当時その28年後、祖母が没し、遺品整理中、祖父の字で「喜郎・二月×日」と記した私の「へその緒箱」が見つかった。16歳で見た戸籍では名「義郎」父一郎母初枝なのに。そこか、若過ぎた我が両親の子供としてでなく、祖父夫婦は自分達の子、名の一字を使い「喜郎」とし、父一郎の弟として育てようと思つたのだらう。一ヶ月の届け遅れの間、誰かの(想像は出来て暮参りしている)忠告を受けて、実際の母初枝父一郎の長男とし届けたのだと思つている。名前を「喜」から「義」に変えたのは、明治まで酒谷家は代々「義左衛門」。幼くて死んだ祖父の兄は「義太郎」だったから、その「義」を呉れたのだらう。この一字違いは、私の人生に大きな影響を与えた。前に書いたが、もし私が次男「喜郎」なら相続権は無く、長男の父一郎が全財産を相続し、弟の私は「分家」し住居用の家を貰つて酒屋もしなかつただらう。タツタ一字の違いで私の人生は大きく違つた。「とんからりん」も『集西楽サカタニ』も無く皆様とのご縁もなかつたと思う。

京都&東山 ぶらりピカリ

47

馬町あたり・二

チョッと改装や色々な仕事が重なり「とんからりん」月号の作成に苦労しています。「この欄もそれで前号の続編の形になりました。写真は「馬塚」です。相当前に一度取上げましたが、堪忍しとくりやす。(許しての京こぼ)



場所は「豊国(トヨクニ)神社 東裏に有る。『五輪塔』には秀吉の命日と梵字が刻まれており、ここで

「秀吉さんを偲んだと思われる」との書物もある。秀吉公人気は、伏見城、本町通り、お土居、大仏殿、聚楽第等々(公共投資)で京都を華やかにしたからだろう。なぜ「馬塚」なのか。名前の由来は、江戸時代「豊臣」の名が憚られたため、「馬町」という近隣の地名にちなんでつけられたもの。だこのこと。現在の阿弥陀ヶ峰の



不審火の線
いま捜査中
『とんからりん』で繋がっている会員の皆さん。何時までも会員でいてねとヨシイちゃんはおどろい。

「秀吉公の墓五輪の塔」は明治の再建だが、馬塚の塔は江戸時代の五輪の塔だから。先の書物に説は正しいのである。

写真 は「国家安康」大釣鐘 後の木造三層建物は「方広寺大仏殿」昭和48年(1973年)3月28日深夜の火災によって焼失している。火災も近くまで行き「棟の落ちる」を見た。野次馬的性格は今もあつて、「迷惑を掛ける事」バンバ(死後後悔ないだろう)

写真 大仏(木製の上半身のみ)は焼け落ちを報じた記事。私も小学生の時から何度か見ているが「張りぼて」で貧相な感じだった。写真の は 明治の初期のもの。

坂本竜馬やおりよさんもこれを見たかも知れない。三十三間堂南に「土佐藩の屋敷(石碑有り)」があり、おりよさんの母御が働いていた。竜馬とおりよさんの接点がある。彼女は木屋町正面上に居たとつから、逢引の目印には最適と思つた。

人の縁は、出会が全く偶然でも親しくなり繋がる人、再々会つていて良く知つても繋がらない人もある。摩訶不思議なものだ。

市電が走った 京都を巡る

37

福田静二



「銀閣寺道」
「浄土寺」
「錦林車庫前」
J000JI

発車した錦林車庫方面行き市電は、すぐに南へ九〇度曲がり、今出川通から白川通に入ります。吉田山、神楽岡を右手に見ながら、京都市電の最東端を走ります。この白川線は昭和二十九年の開業最も遅い開業区間となります。

銀閣寺道周辺は、まだ商店が多いものの、次第に住宅街が続くようになります。この付近、白川通から少し入ると、京都育ちの元グ

ルプサウンスの一人の実家があらることも有名です。なんでも表札がファンに持って行かれるので、紙の表札になっているとか。まもなく「浄土寺」に到着です。銀閣寺道から、わずか三百メートル



京都市電の沿線では唯一残っていた
畑から市電を見る

ルしかありません。市電を撮っていた時代の思い出として、浄土寺から少し南へ行った東側に、まだ畑が残っていたことです。わずかな区画でしたが、京都の端にきたとの思いを強くしたものです。市電から田畑が見えたのは、おそらくこの区間だけだったと思います。

さて、電停名の浄土寺は、左京区の広域地名「浄土寺」から来ています。その昔、浄土寺村が京都に編入された際にできた地名です。ところが、どこを探しても浄土寺というお寺はありません。しかし、明確な場所は不明ですが、確かにこの付近に浄土寺はありました。

平安中期に建立され、平安後期から鎌倉期にはそれなりの大きさ誇っていたようですが、応仁の乱で焼失しました。その後、浄土寺は相国寺の西に替地を与えられて、草堂を残すだけになりました。その草堂が、江戸時代に銀閣寺の北に復興され、今も浄土院として引き継がれています。付近の耕作者が村落を形成し、応仁年間には浄土寺村を名乗るようになった。

野外展示ですが、いまも定期的に補修が行われているようで、塗装もめまやかに保存されています。京都市電も、廃止当時は各所で保存されましたが、そのほとんどが、雨どいのままの放置状態で荒廃してしまっています。三十年余りの間に解体されたものも多く、残った市電も見影もありません。その点、当地の市電が、理解ある関係者に守られて、当時の姿を保っているのは嬉しい限りです。



浄土寺に到着する市電、付近は閑静な住宅街だった

酒屋で生きて 生かされて



第八十八話 私の三・一五

（蟹工船の著者）小
林多喜二

「一九二八年三月十五日」と題
した小説を書いている。それは

「国体変革しおよび私有財産を否
認せんとする結社・運動を禁止す
る」治安維持法（1925年 3月議
会通過）で、検挙された共産党や
左翼思想家を拷問の描写が書かれ
たもので即発禁になった。多喜二
ものち「逮捕」され1933年 2月
20日特高警察により拷問死した。

今は「遠い昔」の本で読む知る
人も少ないが、先の戦争直後は良
く読まれていた。私もその影響を
受けて、青年時代、左翼活動し、
家出状態で南山城大水害（1953
年 8月15日）の被害地の木津川
堤防の小屋に住込み、「救援活動＝
ボランティア」をしていた。

その翌年一月その小屋へ、父の経
営していた酒谷本店（写真・酒圃屋・
現址）の店員が父の命で「家が太
変だから帰って来て欲しい」と呼
びにきた。



家に帰り聞
くと「資金繰
りが苦しいか
ら帳簿を見て
くれ」と言っ
た。帳簿、帳票を
調べると店員

に多額の横領があり赤字、銀
行借入も多い。大まかな貸借
目録」を作成、当座の衣服以外の
全て、腕時計から背広まで明記し
た。祖母も「溺れたら裸になれ
ば浮き助かる」と父に助言してい
た。筆頭債権者「朝日麦酒株」渋
谷謹京都支店長が議長で会議は進
み、伏見の酒造会社との共同経
営などの話が纏まらず、最終的に
「土地建物を債権者団」に担保に
入れ、銀行借入金額を債権者が出
資した資金で返済、債務の半額は
切り捨て残額は「会社」が個人に払
う家賃で返済」という事で決着

した。それとは別に「父が関係し
ていた女性（遭込みの原因になり、後父
の3番目の妻と手を切ることに。私が
父の仕事に参加が条件になった。
私は既に「家」を捨てる積りでい
たから、店が軌道に乗るまで手伝
うが、仕事以外の時間は自由にと
条件で井手町の小屋に住んでし
ていた役目を外れ、昭和30年1
月1日付国税局から酒卸免許を得
た「株式会社酒谷本店」の一社員
として仕事に参加した。
これが私にとって三・一五である。

ひな祭り

三月三日



三月に入りましたね。皆さん
二月をしっかりと終えて花芽吹
く月を迎えることが出来ました
でしょうか？私はいいますと、
親不知（歯）が四本変な方向に
生えていることがあることが発
覚し、この度抜くことになりま
した。はははっ、痛みを掴んで
三月に持ち越しになっちゃいま
したよ。

三月といえは女の子の節句が
ございますね。寒々とした今ま
での気配とは打って変わり、暖
かな日差しの色が強くなってま
います。自然はいち早くそれ
をキャッチしてポツリ、ポツリ
と単色に色彩をのせてゆき、ピ
ヨピヨ、ピーピーと知らせて回
るのです。桃の花がいい頃合い

に咲くとき、人間は全てから
の知らせを感じ取り祭りを催
します。女性はまるで一輪の
花のように我が身を飾り、男
性は枝葉となつて花を守りなが
ら横を歩くのです。

赤い毛氈に広げられるお菓子
は、三色団子、金平糖、縁起造
りの砂糖菓子、菱餅、桜餅、あ
ども可愛らしくて美味しそう。
でも歯があれなんで食べられな
い。歌留多に百人一首に歌詠み
に、雅楽の合奏も御座いますね。
外の晴れやかな空気に合わせて
人の気持ちも雅になってゆくの
です。

話は反れてしましますが、雅と
いうものは良い響きで余り羽目
を外しません。この音の中には
品とプライドと緊張感が少しず
つ入っている気がするからでしょ
うか？決して艶やかだけでない

所に音の重みを感じることが出
来るような気がします。言葉の
重みと一つのを感じ取ることは
とても重要でございます。例え
ば昔の公家風情が様々な言葉
を取り違えなければ、後に起る
不必要な事は避けられたのに、
と私的に思うのです。これから
の時期、美しい音色が辺りに聞
こえ始めるでしょう。感度を高
く持つてその中に隠されている
重さ・軽やかさ・優雅さ・あた
たかさ等を感じ取ってゆくと、
自然をもっと楽しむ事が出来ま
すし、その感度の高さでいざこ
ざを回避してゆけるかも知れま
せん。

その3年後、ある事で、左翼活動
から離れ酒屋業に専念することとな
った。三・一五は忘れない日だ。
一月は日数が少
ない上に改装工事
のも重なりとんからりん作成が大
変だった。が、協力くださった方々の
お陰で何とか出来上がった。
まじごとと言ったスタートし
→96年4月27日、東京豊島区池
袋のアパートの親子が餓死事件を
しりごとからりんとした。
戦時中の隣組の歌。作詞は岡本
一平（漫画家）。大政翼賛会の推薦
で町内会の班的な組織を賛美す
る歌でリズムも軽快だった。
只、歌詞の中に、戦後忘れられて
きた庶民的な近所付き各町の良さ
がある。とんからりんと聞くだけで
その歌詞を思い出されると思っ
た。今号は74前の自分を見ると同じ
ような事を一度も二度も書いてい
る。特「最近増えた。ボケてきたかな。
でも、お優しい読者（会員）さんか
ら指摘はほとんどない。お読みが
読まれていないが、真如が問題だ」
〈To be or not to be. that is the
question. 〉ハムレット。
「フフ愚痴してました。頼まれて
書いてる訳ではない。我が儘だ」と
何時かは途切れるが当分続けよう
と。そして、二、三石を投げたみた
つもり。ポチマン位は聞かせる来りやろ
う。ポチマンなければ、一人相撲だ。
月刊を止めようか。又ハムレット。